

# Access Report

2018年 8月 5日号  
アクセス教育情報センター

## 目次

学校情報	学校情報	教育情報	教育情報	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日大豊山中</li> <li>・大妻嵐山</li> <li>・恵泉女学園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦和ルーテル</li> <li>・小石川中等教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力テスト1</li> <li>・学力テスト2</li> <li>・学力テスト3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力テスト4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名言・迷言・冥言</li> <li>・総体ボクシング</li> <li>・コスタリカの奇跡</li> </ul>

## 学校情報

### 日大豊山中 塾対象説明会

#### 5) 中学入試について

##### 1. 2018年度入試報告

第1回 第2回 第3回 第4回

募集人数 120 50 50 20

応募者数 325 515 445 505

受験者数 299 341 208 269

合格者数 136 117 74 63

実質倍率 2.2 2.9 2.8 4.3

##### 2. 2019年中学入試概要

###### 1. 変更点

###### 募集人数の変更

第1回 120名→110名

第3回 50名→42名

ただし、例年同様、40名×6クラスの240名募集のターゲットは変わらない。

###### 2. 4科入試と2科入試(午後入試)について

4科入試(2/1午前・2/3午前)

国100点、算100点、理社合計100点

2科入試(2/2午後・2/3午後)

国100点、算100点

### 3. 出題傾向

国語

基本的読解力と語彙力を問う

基本問題 20点程度 漢字の読み書き、慣用句、四字熟語

説明的文章 40点程度

文学的文章 40点程度

算数

総問題数20題程度、配点4～6点

計算問題5題程度

小問5題程度 速さ・割合・単位・場合の数・数の性質・整数等

基本的な図形

特殊算

新傾向、論理力を問う問題

応用的な図形問題

理科

社会と併せて60分100点 理科は50点

物理・化学・生物・地学の4分野から大問1題ずつ出題

全体で25題程度 1題1～2点の配点

社会

大問数4題、小問は25題前後の50点

歴史分野 20点

公民分野 20点

地理分野 10点

基本的な事柄で問題を構成、基礎基本を重視。

時事問題や正誤問題、地図、グラフの読み取り問題も出題。

### 4. 2科・4科判定方法

合否判定をする際に、4科の素点と2科の点×1.5の点数で高い方の点数を本人の得点とする。

### 5. 複数回受験出願の優遇措置

2回受験も4回受験も平等の扱い。

### 6. 繰上合格について

第3回、第4回入試を受験された受験生対象。2018年は5人ほど繰上。最終手続き日の翌日に電話にて連絡。

(報告 G. Wa)

<http://www.buzan.hs.nihon-u.ac.jp/>

## 恵泉女学園 教育懇談会(2018年7月10日)

入試広報部長 徳山先生

中高の6年間で、自分の考えを表できる人に。広い視野を持って、考えを深められる人に。そのために、いろいろなことに積極的にチャレンジして欲しい。

6)2019年入試について

1. 日程は2018年と同じ

1日午後 S方式第一回 50名 2科

2日 A方式 100名 4科

3日午後 S方式第2回 30名 2科

恵泉はキリスト教の考えに基づいた教育をおこなっている。2月3日は日曜日にあたり、日曜日の午前中は教会に行く時間を確保するため、入試を行わない。

すべてWeb出願

自己紹介カードの廃止 本校のキリスト教教育にご理解いただいているかを確認するカードの記入となります。入学後に自己紹介カードを書いてもらう。

2. S方式 午後の2科の入試。

募集人員は第1回2月1日が50名と、第2回の3日が30名。

第1回は帰国生枠約10名を含む。

選考内容 筆記試験2科目(国語、算数)

筆記試験の国語、算数について、午後入試で当日発表のため採点時間が短くなるため、国語では記述が減り、算数は途中式を書かず、解答のみとなる。解答しやすいスタイルの解答用紙になる。

受験生に求める学力はA方式と変わらない。

帰国生枠以外は面接はなく、カードを記入。

帰国生の枠の人数は約10名。条件については学校案内を参照。

帰国生枠の試験内容はS入試の他の受験生と同じ問題の国語、算数と保護者同伴の面接。

3. A方式 午前の4科の入試。(従来の方式 AはオーセンティックのA)

2月2日募集人数100名

恵泉が第1志望の方は募集人数が100名と多いこともあり、どうぞ受けていただきたい。

選考内容 筆記試験4科目(国語、算数、社会と理科)

受験生にはカードを記入していただく。

国語…読解力や、表現力を見る記述がある。記述式の問題は論理的思考力をみるためのもの。

算数…一つひとつの過程を丁寧にたどりながら、解答を導きだしてほしいことから途中式を書かせる問題がある。

社会、理科…両方合わせて45分。グラフやデータから情報を分析する力を見る問題がある。問題を考える過程を重視して、それを表現する力を求めている。

## 7)その他

学校見学はホームページで見学可能日を確認の上、電話で予約を。

<https://www.keisen.jp/>

## 浦和ルーテル 青山学院の系属校に

(青山学院大学のホームページより)

青山学院大学が新たな系属校協定を締結

学校法人青山学院(理事長・堀田宣彌)と学校法人浦和ルーテル学院(理事長・東海林敏雄)は、浦和ルーテル学院の設置学校である浦和ルーテル学院小学校、中学校及び高等学校(校長・福島宏政)が、青山学院の設置学校である青山学院大学(学長・三木義一)の「系属校」となる協定書を2018年7月18日(水)に締結した。

本協定は、青山学院と浦和ルーテル学院が、いずれもキリスト教信仰に基づく学校として、互いの建学の精神を尊重し、さらに発展を期するため、浦和ルーテル学院小学校、中学校及び高等学校が、青山学院大学の「系属校」となることを目的としたものである。

注:以下文章中の「大学」は「青山学院大学」。

### 【主な協定内容】

- (1)系属校推薦入学の時期:2031年4月1日から(経過措置あり)
- (2)大学への系属校推薦入学:2019年度に浦和ルーテル学院小学校に入学し、2030年度に浦和ルーテル学院高等学校を卒業する者が対象となる。なお、募集定員の上限を超えない募集枠及び進学基準を満たす者が、系属校推薦入学として大学へ進学できる。(浦和ルーテル学院は、大学への推薦入学希望者の全入を目指します。)
- (3)経過措置:2020年度入試から2030年度入試までは、一定の募集枠の範囲内で、進学基準を満たす者について、系属校推薦入学経過措置として大学に入学できる。
- (4)経営形態:大学の系属校になっても従来どおり、浦和ルーテル学院の設置学校として管理・運営される。
- (5)名称:青山学院大学系属浦和ルーテル学院小学校、青山学院大学系属浦和ルーテル学院中学校、青山学院大学系属浦和ルーテル学院高等学校。
- (6)所在地:浦和ルーテル学院は現在地から移転しない。

### 【系属校とは】

本協定における「系属校」とは、以下の事項を満たすことを条件に、系属校推薦入学を認める学校を示す。

- (1)大学の入学希望者選抜方針(アドミッションポリシー)を理解し、浦和ルーテル学院小学校、中学校及び高等学校の一貫教育を通じて大学との連携強化を志向する学校であること。
- (2)青山学院の建学の精神はもとより、歴史並びに伝統を理解し、共鳴し、その質を高めることが可能な児童並びに生徒を育成する学校であること。
- (3)大学が別途定める進学基準を満たす生徒を育成する学校であること。

(4)校名に「青山学院大学系属」の名称を含む学校であること。

(5)浦和ルーテル学院高等学校に在籍する生徒が大学への入学を希望する場合、大学が定める入学資格を有し、かつ別途定める募集枠を上限として、進学基準を満たすこと。

**【新規系属校の概要】**

浦和ルーテル学院小学校、中学校、高等学校

法人名：学校法人浦和ルーテル学院

所在地：埼玉県さいたま市緑区大崎 3642

<https://www.uls.ed.jp/>

---